

小 売 業

業況、売上、採算

今期(2020.4~6)の業況判断DIは▲80.7で、前年同期(2019.4~6)と比べ43.2ポイント低下し、大幅に悪化しました。

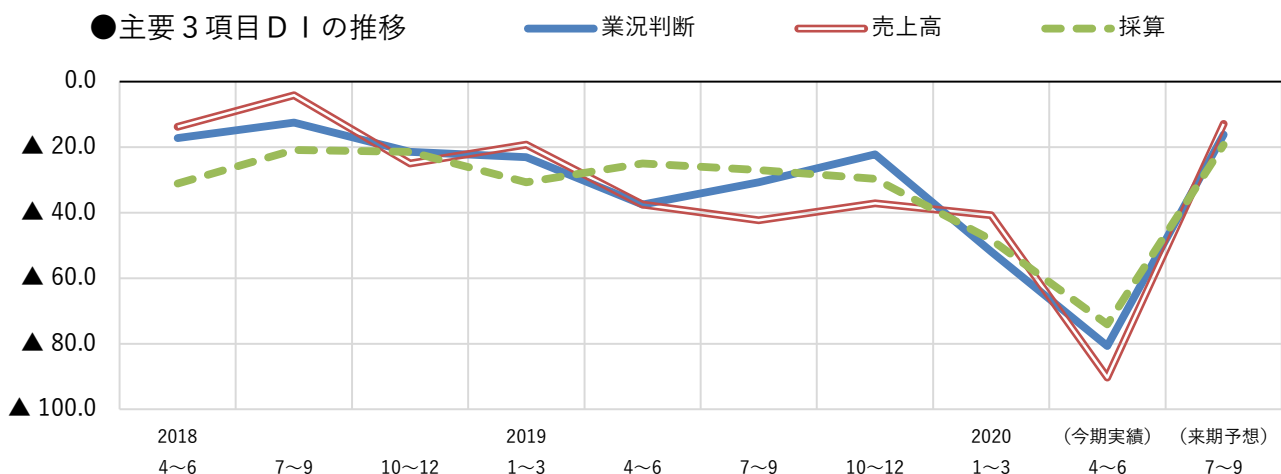
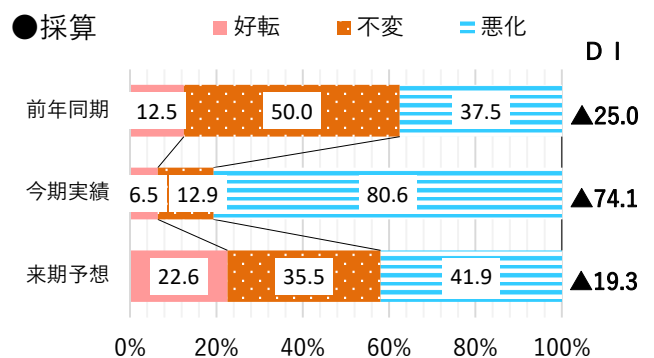
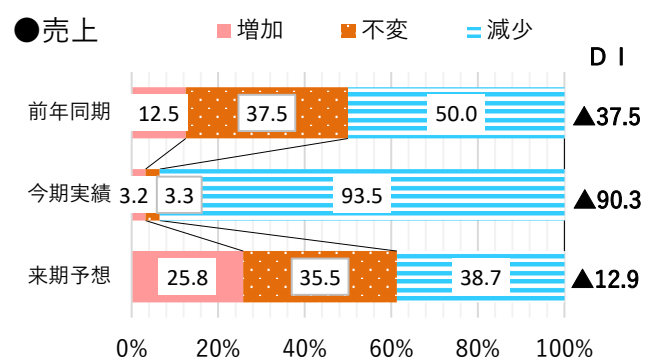
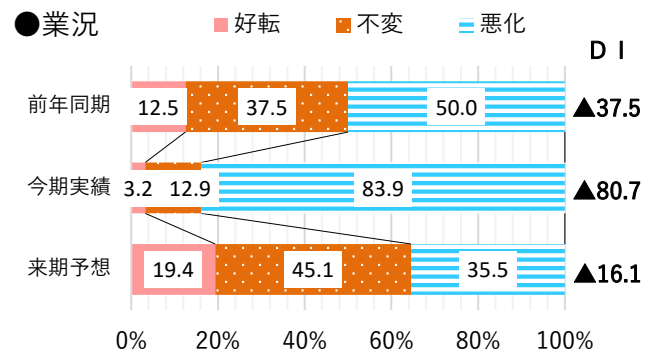
来期(2020.7~9)は、業況の悪化傾向が大幅に弱まると予想しています。

今期の売上高DIは▲90.3で、前年同期と比べ52.8ポイント低下し、大幅に減少しました。

来期は、売上の減少傾向が大幅に弱まると予想しています。

今期の採算DIは▲74.1で、前年同期と比べ49.1ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期は、採算の悪化傾向が大幅に弱まると予想しています。



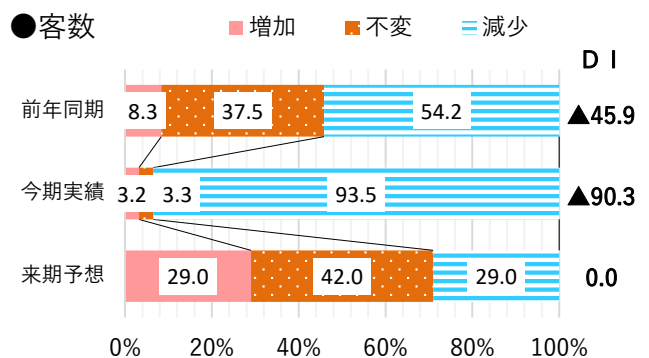
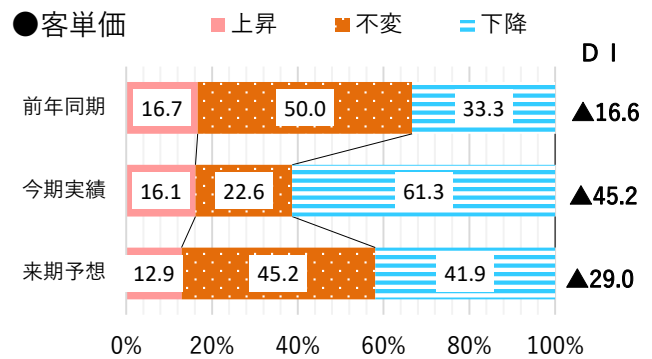
客単価、客数

今期の客単価DIは▲45.2で、前年同期と比べ28.6ポイント低下しました。

来期は、客単価の下降傾向が弱まると予想しています。

今期の客数DIは▲90.3で、前年同期と比べ44.4ポイント低下し、大幅に減少しました。

来期は、客数の減少傾向が落ち着くと予想しています。



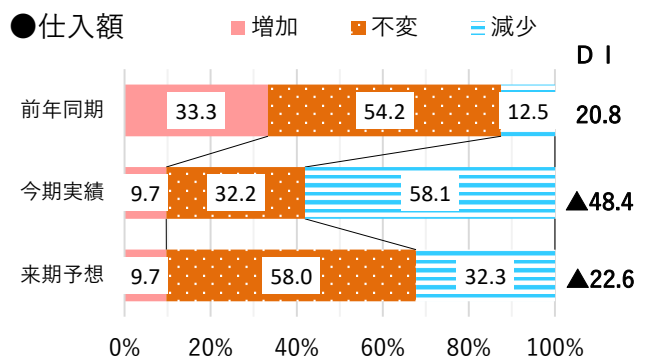
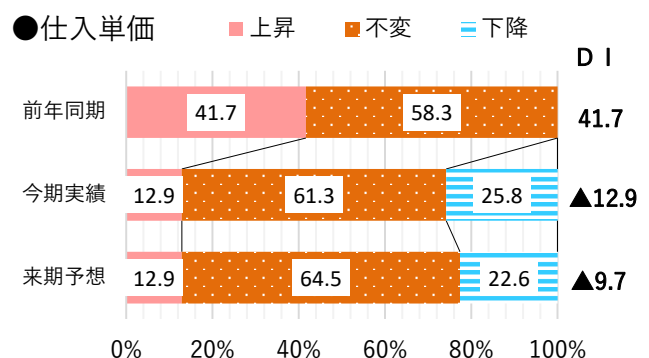
商品仕入単価、商品仕入額、商品在庫数

今期の仕入単価DIは▲12.9で、前年同期と比べ54.6ポイント低下し、大幅に下降しました。

来期は、仕入単価に大きな変化はないと予想しています。

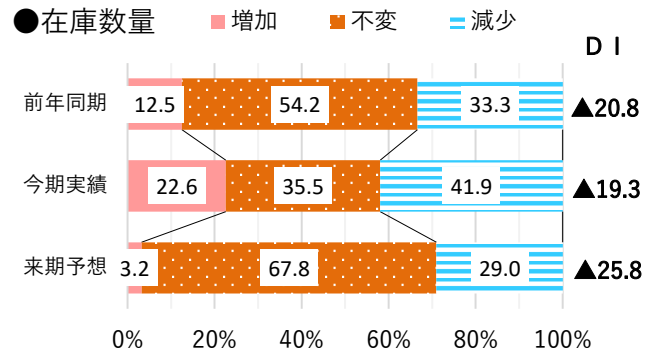
今期の仕入額DIは▲48.4で、前年同期と比べ69.2ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、仕入額の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲19.3で、前年同期と比べ1.5ポイント上昇しました。

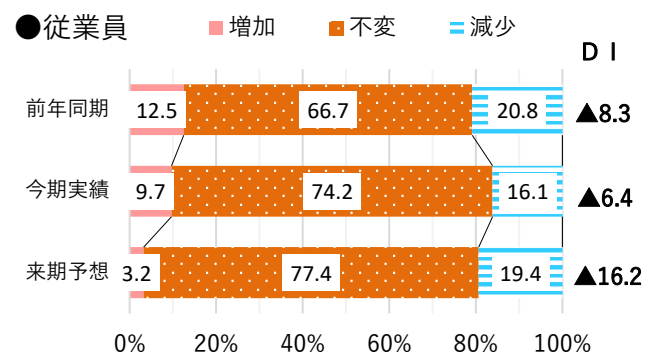
来期は、在庫数量に大きな変化はないと予想しています。



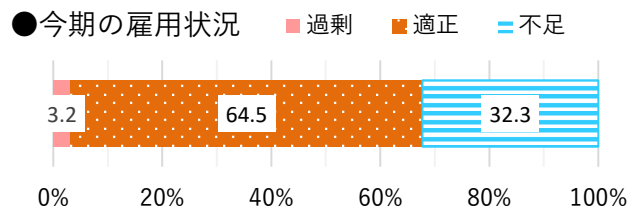
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲6.4で、前年同期と比べ1.9ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ従業員数の減少傾向が強まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は3.2%、適正であると回答した企業の割合は64.5%、不足していると回答した企業の割合は32.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、小売業全体の48.3%を占めています。

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	0
不変だった	過剰	1
	適正	15
	不足	7
減少した	過剰	0
	適正	2
	不足	3

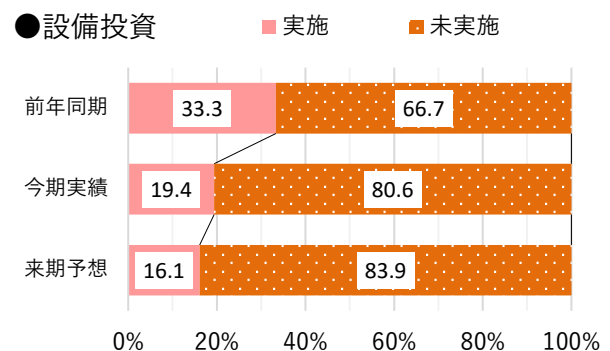
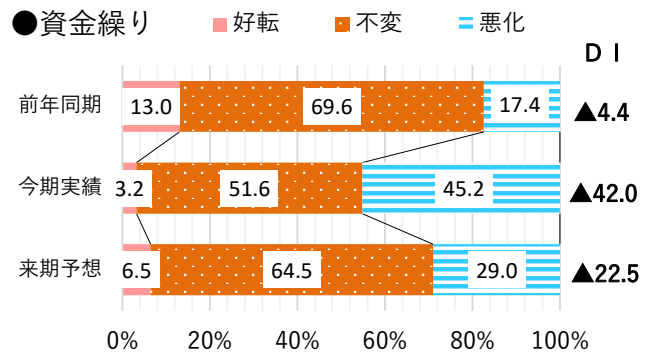
資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲42.0で、前年同期と比べ37.6ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。

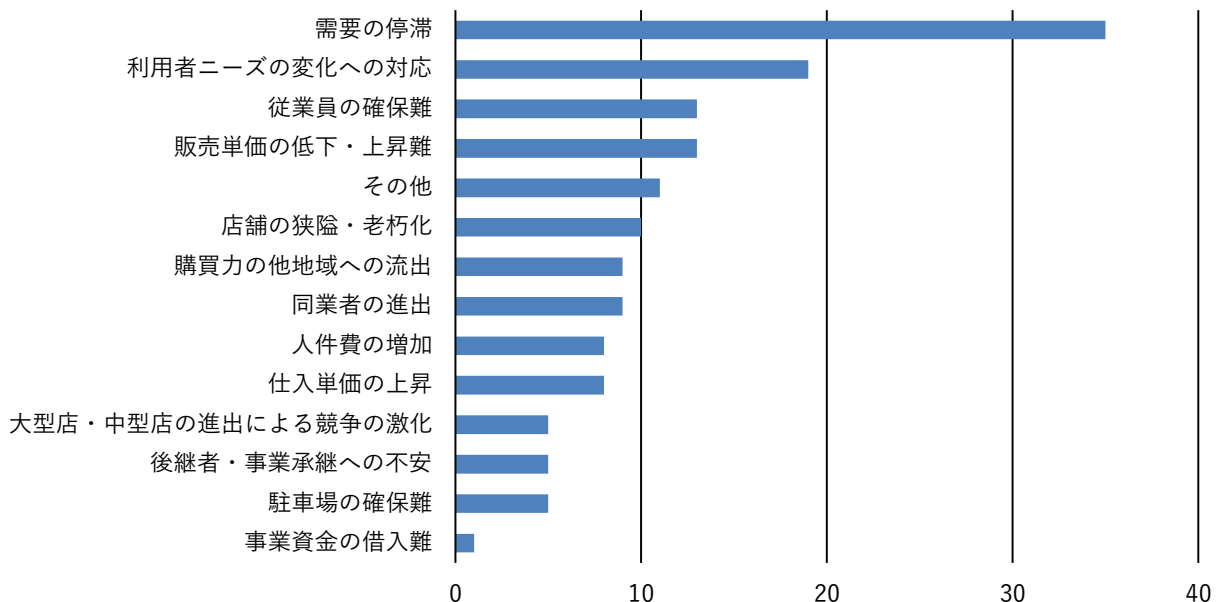
設備投資を実施した企業の割合は19.4%で、前年同期と比べ13.9%低下しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「付帯施設」、「その他」（同位）、2位が「店舗」、「OA機器」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は16.1%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は、1位が「需要の停滞」、2位が「利用者ニーズの変化への対応」、3位が「従業員の確保難」、「販売単価の低下・上昇難」（同位）の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- ホテル等の観光関連施設、飲食店への納品が減少し、売上が大きく減少した。店頭販売は不変～微増程度に留まっており、ネット販売はやや増加した。(食料品小売)
- 新型コロナウイルスの影響で、百貨店等の催事が中止となり、売上が減少した。(食料品小売)
- 新型コロナウイルスの影響で物産展が中止になり、売上が減少した。(菓子製造小売)
- 外出自粛の影響で、業況が悪化した。(菓子製造小売)
- 若年層のニーズの変化や、インターネット販売によって来店客が減少しており、新型コロナウイルスの影響で客数は一層減少した。(衣服・身の回り品小売)
- 新型コロナウイルス感染防止のため、入居しているテナントが休業したことで、在庫が増加した。業況は悪化した。(衣服・身の回り品小売)
- 新型コロナウイルスの影響か、年度替わりの時期の売上が振るわなかった。(衣服・身の回り品小売)
- 客数が減少した。(衣服・身の回り品小売)
- 新型コロナウイルスの影響で新車の生産が停止したため、新車販売台数は落ち込んだが、中古車販売台数が大きく伸長した。また、整備事業の売上も前年実績を超えた。(自動車小売)
- 車両整備工員の高齢化が進行し、人材不足の状況である。新車販売台数が減少したため、新車の仕入を控え、中古車販売に注力した。(自動車小売)
- 新型コロナウイルスの動向を読み切れず、苦労している。(自動車小売)
- 新型コロナウイルスの影響で、人の動きが鈍い。(自動車小売)
- オークションでの売上が悪化した。(自動車小売)
- 新型コロナウイルスの影響で客数が減少し、客単価も低下した。一部商品の売上は伸長したが、販促イベントやセールを自粛したため、全体的な売上は減少した。(ドラッグストア)
- 新型コロナウイルスの影響で施設が休業したため、客数が激減した。(ホームセンター)
- 外出自粛要請のため、利用客と売上が減少した。(燃料小売)
- 新型コロナウイルスの影響で在宅者が多く、客単価が上昇した。10万円の給付金支給後も、売上が増加したように思われる。人件費も上昇しているが、売上の増加によってカバーできている。(大型店)
- 新型コロナウイルスによるインバウンドの減少は、自店の業態にとって影響が大きい。商業集積としてのメリットも薄れ、単独営業では集客への効果も大きく減少した。(大型店)
- 新型コロナウイルスの影響で客数が減少した。求人への申込は増加傾向にある。(大型店)
- 外出自粛により客数の減少や、企業からの営業活動の減少が生じている。祭事の中止も業況悪化の大きな要因である。(コンビニ)
- 取引先の飲食店が営業を自粛していたため、売上が減少した。営業再開後も客数は回復していない。(コンビニ)
- 人口減少と新型コロナウイルスにより業況が悪化した。(花・植木小売)

[来期の業況について]

- 業況はやや持ち直すと思われる。事業計画の抜本的な見直しをしているが、苦労している。(食料品小売)
- 新型コロナウイルス終息の見通しが立たないため、売上の増加は期待できない。(菓子製造小売)
- 道内の顧客から注文が入っており、少し安心している。(菓子製造小売)
- 緊急事態宣言が解除されたため、明るさを取り戻してほしいと思う。(衣服・身の回り品小売)
- 緊急事態宣言が解除されたが、今後の状況には不安を感じている。(衣服・身の回り品小売)
- 緊急事態宣言が解除されたので、観光客の回復を期待する。(衣服・身の回り品小売)
- 営業自粛等が無ければ、業況は好転すると思われる。良い人材を積極的に雇用したい。(自動車小売)
- 新型コロナウイルスの影響は続くと思われる。(自動車小売)
- 賃金の引き上げを予定している。(自動車小売)
- 新型コロナウイルスと新しい生活様式が今後の経営にどのような影響を及ぼすのか、注視しながら対策を考えたい。(ドラッグストア)
- 休業要請が解除されたため、客数の回復が見込める。(ホームセンター)

- 全く予測できない状況である。（燃料小売）
- 客数の増加と業績の回復に期待する。インバウンドの回復には時間がかかるだろう。（大型店）
- 業況は徐々に回復すると思われるが、インバウンドの回復は難しいと思う。（大型店）
- しばらくの間、売上の増加が見込まれる。（大型店）
- 新型コロナウイルスの状況次第だが、業況の好転は難しいと思われる。（コンビニ）
- 客数の回復に期待する。（コンビニ）